

研究実施のお知らせ

2022年8月1日 Ver.1.0

研究課題名

Dual-Energy CT および MRI に基づく機械的血栓回収療法に伴う出血性合併症の診断

研究の対象となる方

2019年1月から2022年5月に浜田医療センターで機械的血栓回収療法を受けられ、Dual-Energy CT および MRI を術後に受けられた方

研究の目的・意義

発症まもない脳梗塞の中で、脳血管が塞栓物質（心臓の不整脈などから形成されたもの、など）によって閉塞した場合、カテーテルによって血栓を回収する治療を行います。この治療を機械的血栓回収療法といいます。

脳梗塞症状の急速な改善が得られるため、適応患者には積極的にこの治療を行っていますが、緊急のカテーテル治療であり、一定の割合で合併症を生じます。特に脳内出血といった出血性合併症をいったん生じてしまいますと、その後の治療が適切に行えない場合があります。

そのため、私たちは手術の後に画像検査を行っています。特殊な CT 検査（Dual-Energy CT といって出血かどうかを判定する一助となる検査です）と MRI の検査を用いて評価しております。Dual-Energy CT は近年普及されつつある検査であり、まだ MRI との結果の比較はされていません。

今回の研究は MRI と結果を比較することで Dual-Energy CT の有効性を明らかにすることが目的です。

Dual-Energy CT の有効性が示されれば、短時間で行える CT 検査で適切な評価ができるようになり、今後の診断や治療の一助となります。

研究の方法

後ろ向き観察研究を行います。

患者様の医療機関での診療記録（カルテ記録）から必要な情報や CT, MRI の結果を抽出し、データ化を行います。その結果をもとに検討や解析を行います。

この研究に参加された場合、診療方法などは個人を得的できないように匿名化・記号化して管理を行います。あなたの個人情報を個人が特定できる形で使用することはありません。

研究の期間

2022年8月（研究許可後）から2023年3月31日

研究の公表

研究から得られた結果を用いて、医学関係の学会や学会発表を行ったり、論文投稿を行う形で公表する予定です。その際にあなたのお名前などの個人を得的できる情報を使用することはありません。

研究組織

研究代表者：秋山 恭彦	島根大学医学部附属病院脳神経外科
研究責任者：江田 大武	国立病院機構浜田医療センター 脳神経外科
研究分担者：木村 麗新	国立病院機構浜田医療センター 脳神経外科
山本 和博	国立病院機構浜田医療センター 脳神経外科

連絡先：

国立病院機構浜田医療センター 脳神経外科 江田大武

TEL：0855-25-0505（代表番号から呼び出しをお願い申し上げます）